

2018年11月第2四半期（第49期）

決算説明補足資料

株式会社ティムコ

2018年7月号 ①

も く じ

- ・ 比 較 貸 借 対 照 表 1
- ・ 比 較 損 益 計 算 書 2
- ・ 売 上 高 の 内 訳 3
- ・ 業 績 推 移 と 当 期 予 想 5
- ・ 市 場 の 動 向 に つ い て 7
 - （ ・ アウトドア関連市場の動向
 - ・ 釣用品市場の動向

会 社 名	株 式 会 社 テ ィ ム コ
JASDAQ上場	1996年（平成8年）6月18日
証券コード	7 5 0 1
U R L	http://www.tiemco.co.jp

当 資 料 に 関 す る お 問 い 合 わ せ
株式会社ティムコ 社長室 東京都墨田区菊川3-1-11 〒130-8555 TEL(03)5600-0122 FAX(03)5600-0302

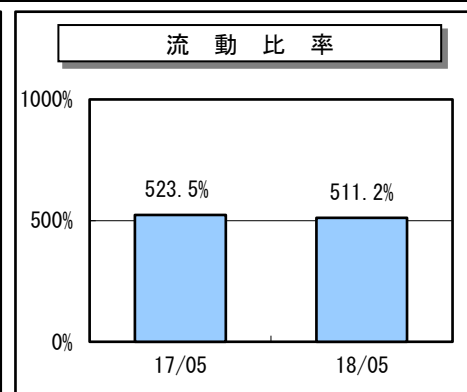
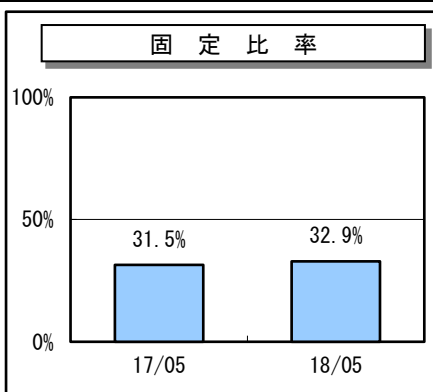
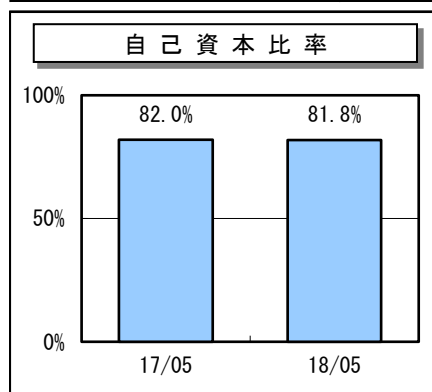
注）当資料は予告なく改訂する場合があります

#180711 J

比較貸借対照表

(単位：千円)

勘定科目	第48期 第2四半期末 2017年5月31日 現在	第49期 第2四半期末 2018年5月31日 現在	増減	備考
資産の部				
現金及び預金	1,725,855	2,141,436	415,581	在庫資金化、有価証券の償還による増加。
受取手形及び売掛金	627,900	653,726	25,825	売上増加による売掛金等の増加。
有価証券	350,177	-	-350,177	有価証券、譲渡性預金の償還による減少。
商品及び製品	1,639,381	1,475,908	-163,472	売上増加及び仕入抑制による減少。
その他	52,758	52,134	-624	
貸倒引当金	-4,954	-2,717	2,237	
流動資産合計	4,391,119	4,320,489	-70,629	
建物	583,597	566,633	-16,964	減価償却の実施による減少。
土地	653,376	653,376	-	
その他	30,965	23,194	-7,770	
有形固定資産合計	1,267,939	1,243,204	-24,734	
無形固定資産合計	40,736	29,420	-11,315	ソフトウェア、リース資産(無形)等の償却等による減少。
投資その他の資産合計	217,748	320,611	102,862	有価証券の購入による増加。
固定資産合計	1,526,424	1,593,236	66,812	
資産合計	5,917,543	5,913,726	-3,817	
負債の部				
支払手形及び買掛金	677,484	670,170	-7,313	
未払法人税等	22,105	28,747	6,642	利益増加による未払法人税等の増加。
返品調整引当金	17,653	13,781	-3,872	
その他	121,583	132,548	10,964	商品評価損失引当金の増加等による。
流動負債合計	838,827	845,248	6,421	
退職給付引当金	126,520	138,850	12,330	前期退職者の引当金取崩による当期反動増による。
その他	102,692	93,533	-9,158	
固定負債合計	229,212	232,384	3,171	
負債合計	1,068,039	1,077,632	9,593	
純資産の部				
資本金	1,079,998	1,079,998	-	
資本剰余金	3,861,448	3,861,448	-	
利益剰余金	372,249	356,320	-15,929	配当金支払等による減少。
自己株式	-478,033	-478,033	-	
株主資本合計	4,835,662	4,819,733	-15,929	
評価・換算差額等合計	13,841	16,360	2,519	
純資産合計	4,849,504	4,836,094	-13,410	
負債純資産合計	5,917,543	5,913,726	-3,817	
自己資本比率	82.0%	81.8%	純資産合計 ÷ 資産合計 × 100(%)	
固定比率	31.5%	32.9%	固定資産 ÷ 純資産合計 × 100(%)	
流動比率	523.5%	511.2%	流動資産 ÷ 流動負債 × 100(%)	

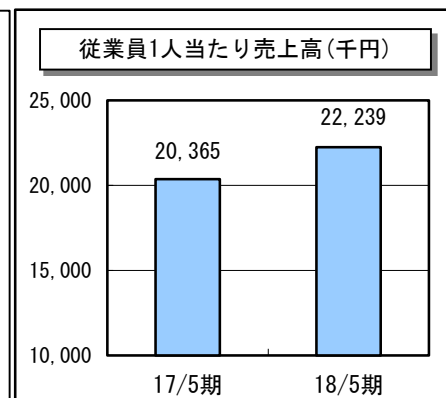
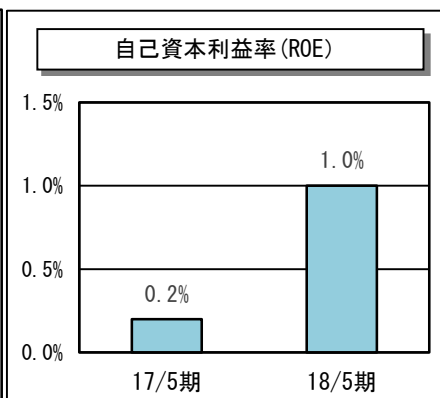
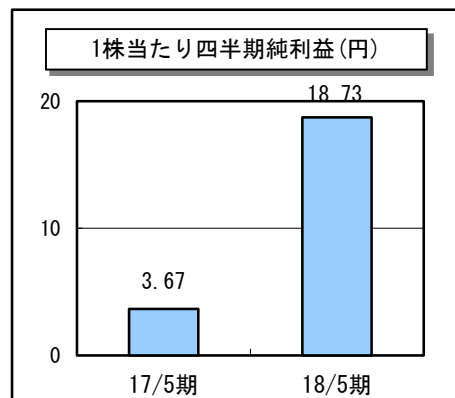


比較損益計算書



(単位：千円)

勘定科目	第48期 2017年5月第2四半期		第49期 2018年5月第2四半期		増減		備考
	金額	百分比	金額	百分比			
売上高	1,466,331	100.0%	1,578,969	100.0%	112,638	7.7%	■ 売上高 当第2四半期累計期間(自平成29年12月1日至平成30年5月31日)における日本経済は、大手企業の生産活動や個人消費の底堅さを背景に需要の緩やかな回復がみられたものの、原油価格の上昇や人手不足による人件費の上昇、保護貿易主義への警戒等の懸念要素が企業の景況感を下押しする状況となりました。当社の関連するアウトドア関連産業においては、釣用品市場、アウトドア衣料品市場ともに、例年よりも冬期の気温が低下した影響等により景況が左右される展開となりました。このような状況の中、当社では販売体制及び収益基盤の強化に取り組んだ結果、当第2四半期の売上高は15億78百万円(前年同期比7.7%増)となりました。 ■ 営業利益～四半期純利益 また、売上総利益が増加したことにより、営業利益は61百万円(前年同期比655.7%増)、経常利益は65百万円(前年同期比599.2%増)、四半期純利益は46百万円(前年同期比411.0%増)となりました。
売上原価	793,467	54.1%	859,103	54.4%	65,635	8.3%	
売上総利益	672,863	45.9%	719,866	45.6%	47,002	7.0%	
返品調整引当金戻入額	28,551	1.9%	27,576	1.7%	-975	-3.4%	
返品調整引当金繰入額	17,653	1.2%	13,781	0.9%	-3,872	-21.9%	
差引売上総利益	683,761	46.6%	733,660	46.5%	49,899	7.3%	
販売費及び一般管理費	675,569	46.1%	671,758	42.5%	-3,811	-0.6%	
営業利益	8,191	0.6%	61,902	3.9%	53,710	655.7%	
受取利息	477	0.0%	612	0.0%	134	28.2%	
受取配当金	558	0.0%	573	0.0%	14	2.6%	
為替差益	—	—	1,435	—	1,435	—	
その他の	339	0.0%	571	0.0%	232	68.5%	
営業外収益	1,375	0.1%	3,192	0.2%	1,817	132.1%	
営業外費用	263	0.0%	37	0.0%	-225	-85.8%	
経常利益	9,304	0.6%	65,057	4.1%	55,753	599.2%	
特別利益	7,700	0.5%	—	—	-7,700	-100.0%	
特別損失	—	—	280	0.0%	280	—	
税引前四半期純利益	17,004	1.2%	64,777	4.1%	47,773	281.0%	
法人税、住民税及び事業税	6,969	0.5%	13,077	0.8%	6,108	87.6%	
法人税等調整額	953	0.1%	5,302	0.3%	4,348	455.9%	
四半期純利益又は四半期純損失	9,080	0.6%	46,396	0.0%	37,316	411.0%	
純資産合計	4,849,504 千円		4,836,094 千円		-13,410 千円		
発行済株式総数	3,339,995 株		3,339,995 株		— 株		
発行済株式総数(除自己株式)	2,476,551 株		2,476,551 株		— 株		
期中平均株式数	2,476,554 株		2,476,551 株		— 株		
1株当たり四半期純利益又は純損失	3.67 円		18.73 円		15.07 円		四半期純利益÷期中平均株式数
1株当たり純資産	1,958.17 円		1,952.75 円		-5.42 円		純資産÷発行済株式総数(除自己株式)
自己資本利益率(ROE)	0.2 %		1.0 %		—		四半期純利益÷第2四半期末の自己資本
第2四半期末従業員数 (役員及び臨時従業者を含む)	72 人 (167) 人		71 人 (172) 人		-1 人 (5) 人		役員及び臨時雇用者含む
従業員1人当たり売上高	20,365 千円		22,239 千円		1,874 千円		売上高÷第2四半期末従業員数
減価償却費	35,477	2.4%	34,538	2.2%	-938	-2.6%	



売 上 高 の 内 訳

■ 事業セグメント別売上高

(単位：千円) < 解 説 >

セグメント	第48期(2017/5期)		第49期(2018/5期)		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
(フィッシング事業)						
ルアー用品	141,731	9.7%	197,080	12.5%	55,348	39.1%
フライ用品	288,207	19.7%	265,949	16.8%	-22,258	-7.7%
その他フィッシング用品	84,974	5.7%	78,139	5.0%	-6,835	-8.0%
計	514,914	35.1%	541,169	34.3%	26,255	5.1%
(アウトドア事業)						
アウトドア衣料	788,214	53.8%	859,638	54.4%	71,424	9.1%
その他アウトドア用品	147,013	10.0%	162,048	10.3%	15,035	10.2%
計	935,227	63.8%	1,021,687	64.7%	86,459	9.2%
そ の 他	16,189	1.1%	16,113	1.0%	-75	-0.5%
合 計	1,466,331	100.0%	1,578,969	100.0%	112,638	7.7%

■フィッシング事業
ルアー用品に関しては、ルアー(擬似餌)やフィッシングロッド(釣竿)等の新製品投入効果やインターネットを活用した動画配信等による販促活動が奏功し、売上高は堅調に推移しました。一方、フライ用品に関しては、折からの市場低迷の影響を受けて販売が苦戦いたしました。

■アウトドア事業
アウトドア事業に関しては、秋冬シーズン初頭からの低温傾向により、ジャケットなどの防寒重衣料の販売が好調に推移し、売上を牽引いたしました。

■ 販売経路別売上高

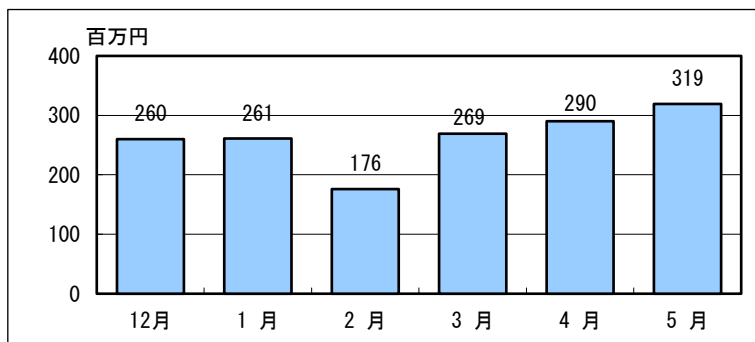
(単位：千円)

販 売 経 路		第48期(2017/5期)		第49期(2018/5期)		前年同期比	
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率
国 内	当社 → 卸売店 → 小売店 → 消費者	176,478	12.1%	181,629	11.5%	5,150	2.9%
	当社 → 小売店 → 消費者	1,176,586	80.2%	1,288,623	81.6%	112,036	9.5%
	当社 → 消費者	17,425	1.2%	18,611	1.2%	1,186	6.8%
	国 内 小 計	1,360,170	93.5%	1,488,864	94.3%	128,693	9.5%
輸 出		78,414	5.4%	73,992	4.7%	-4,422	-5.6%
その他(損害保険代理店手数料/不動産賃貸収入)		16,189	1.1%	16,113	1.0%	-75	-0.5%
合 計		1,466,331	100.0%	1,578,969	100.0%	112,638	7.7%

※) フォックスファイヤーストア等の販売店は、「当社→小売店→消費者」に含まれます。

■ 月別売上高(2018年5月期) (単位:千円)

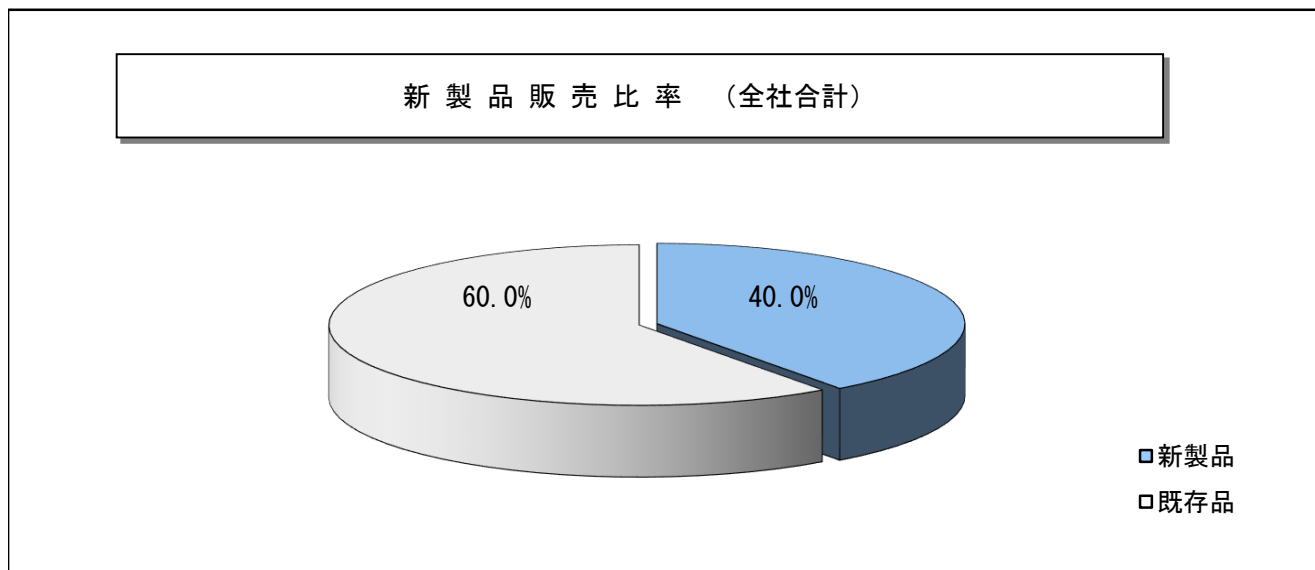
	売 上 高	構 成 比	前年同月比
12月	260,468	16.5%	11.9%
1 月	261,895	16.6%	21.1%
2 月	176,480	11.2%	8.0%
3 月	269,410	17.1%	-3.2%
4 月	290,971	18.4%	1.6%
5 月	319,745	20.3%	10.6%



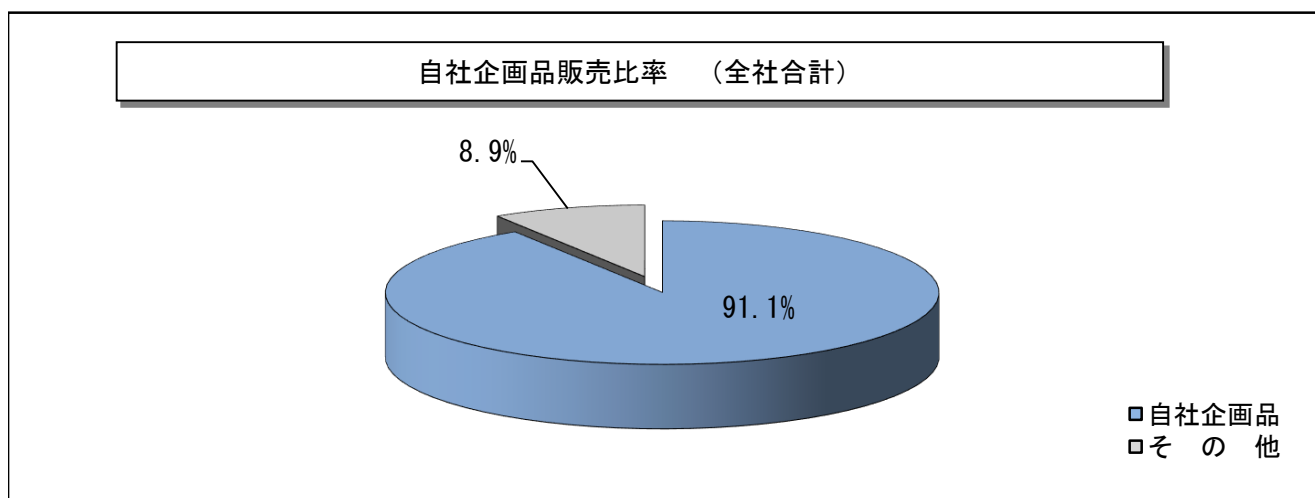
< 解 説 >

12月～1月は気温低下により、防寒衣料の販売が堅調に推移。一方、3月は前年実施した冬物の大型セールの実施をがなかったため、前年同月の売上高を下回りました。その他、全般に堅調に推移しました。

■ 新製品販売比率（2018/5期）



■ 自社企画品販売比率（2018/5期）



■ 輸 出 の 状 況

（単位：千円）

■ 輸 入 の 状 況

（単位：千円）

	2017/5期		2018/5期			2017/5期		2018/5期	
売 上 高	1,466,331		1,578,969		仕入金額	964,758		923,705	
輸出金額	78,414		73,992		輸入金額	97,522		119,134	
輸出比率	5.3%		4.7%		輸入比率	10.1%		12.9%	
輸出シェア	スリランカ	21.8%	スリランカ	26.8%	輸入シェア	アメリカ	63.4%	アメリカ	64.6%
	アメリカ	11.1%	アメリカ	19.4%		韓 国	23.4%	韓 国	14.0%
	スウェーデン	9.8%	スウェーデン	7.6%		中 国	6.4%	中 国	12.3%
	ス イ ス	9.6%	韓 国	6.4%		スウェーデン	3.1%	スウェーデン	3.6%
	タ イ	7.4%	タ イ	4.8%		カ ナ ダ	1.3%	カ ナ ダ	1.7%
	韓 国	5.8%	スロベニア	3.7%		イ タ リ ア	0.9%	パキスタン	1.3%
	そ の 他	34.5%	そ の 他	31.3%		そ の 他	1.6%	そ の 他	2.5%

＜解 説＞

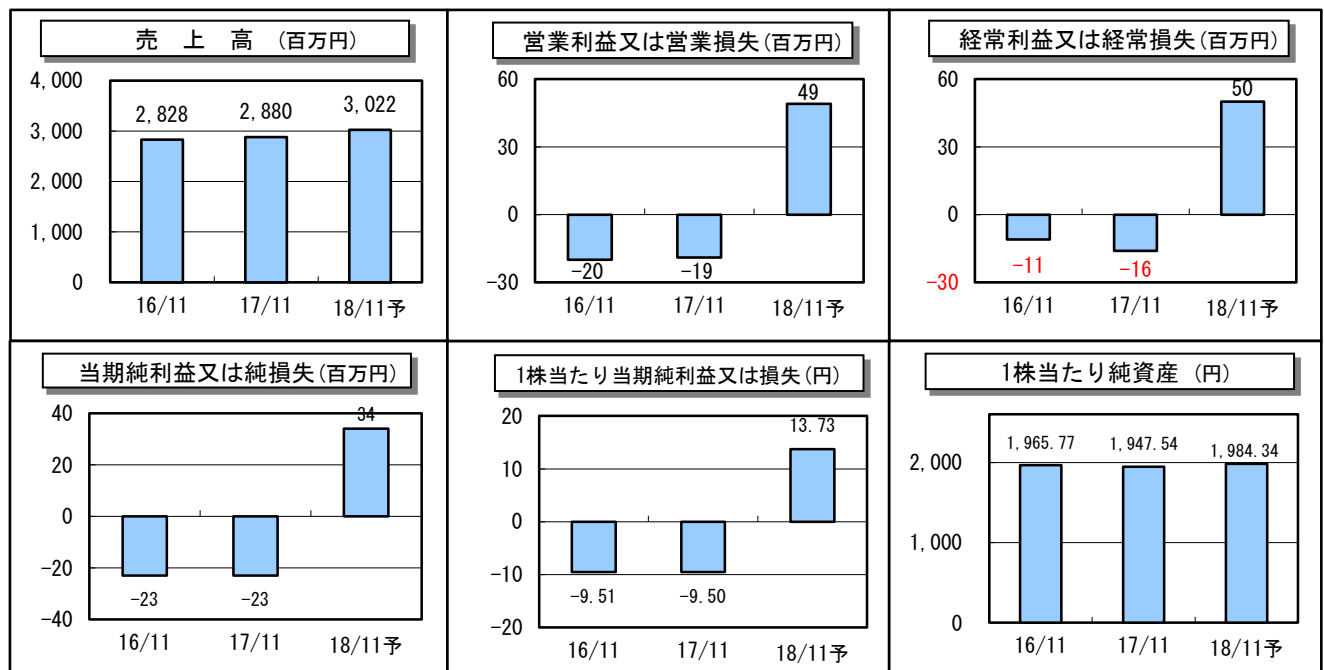
輸出については、アメリカ、スリランカが堅調に推移した一方、欧州市場が振るわず輸出金額全体が落ち込みました。輸入につきましては、商品仕入高を抑える中で、アメリカ、中国を中心とした輸入が増加し、輸入比率が増加しました。

業績推移と通期予想 ①



(単位：千円)

	第46期 (16/11期)		第47期 (17/11期)			第49期 (18/11期) 予想		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比	金額	百分比	前期比
売上高	2,828,353	100.0%	2,880,920	100.0%	1.9%	3,022,000	100.0%	4.9%
売上原価	1,563,439	55.3%	1,580,277	54.9%	1.1%	1,640,000	54.3%	3.8%
売上総利益	1,264,913	44.7%	1,300,643	45.1%	2.8%	1,382,000	45.7%	6.3%
返品調整引当金戻入額	24,544	0.9%	28,551	1.0%	16.3%	27,600	0.9%	-3.3%
返品調整引当金繰入額	28,551	1.0%	27,576	1.0%	-3.4%	25,200	0.8%	-8.6%
差引売上総利益	1,260,906	44.6%	1,301,619	45.2%	3.2%	1,384,400	45.8%	6.4%
販売費及び一般管理費	1,281,403	45.3%	1,321,062	45.9%	3.1%	1,335,400	44.2%	1.1%
営業利益又は営業損失	-20,497	-0.7%	-19,443	-0.7%	-5.1%	49,000	1.6%	-352.0%
営業外収益	9,589	0.3%	3,314	0.1%	-65.4%	4,600	0.2%	38.8%
営業外費用	106	0.0%	197	0.0%	85.8%	3,100	0.1%	1473.6%
経常利益又は経常損失	-11,014	-0.4%	-16,325	-0.6%	48.2%	50,500	1.7%	-409.3%
特別利益	—	—	7,700	0.3%	—	—	—	—
特別損失	—	—	—	—	—	300	0.0%	—
税引前当期純利益又は純損失	-11,014	-0.4%	-8,625	-0.3%	—	50,200	1.7%	—
法人税、住民税及び事業税	12,857	0.5%	14,196	0.5%	10.4%	19,200	0.6%	—
法人税等調整額	-311	0.0%	705	0.0%	-326.7%	-3,000	-0.1%	—
当期純利益又は純損失	-23,560	-0.8%	-23,527	-0.8%	—	34,000	1.1%	—
純資産	4,868,361 千円		4,823,171 千円		—	4,914,319 千円		予想
発行済株式総数	3,339,995 株		3,339,995 株		—	3,339,995 株		予想
自己株式数	863,424 株		863,444 株		—	863,444 株		予想
期末株式数	2,476,571 株		2,476,551 株		—	2,476,551 株		予想
期中平均株式数	2,476,571 株		2,476,553 株		—	2,476,551 株		予想
1株当たり当期純利益及び純損失	-9.51 円		-9.50 円		—	13.73 円		予想
1株当たり純資産	1,965.77 円		1,947.54 円		—	1,984.34 円		予想
1株当たり配当金	12.00 円		12.00 円		—	12.00 円		予想
当期末従業員数	70 人		71 人		—	71 人		予想
従業員1人当たり売上高	40,405 千円		40,576 千円		—	42,563 千円		予想
減価償却費	74,570 千円		79,874 千円		—	72,936 千円		予想
設備投資額	14 百万円		14 百万円		—	28 百万円		予想



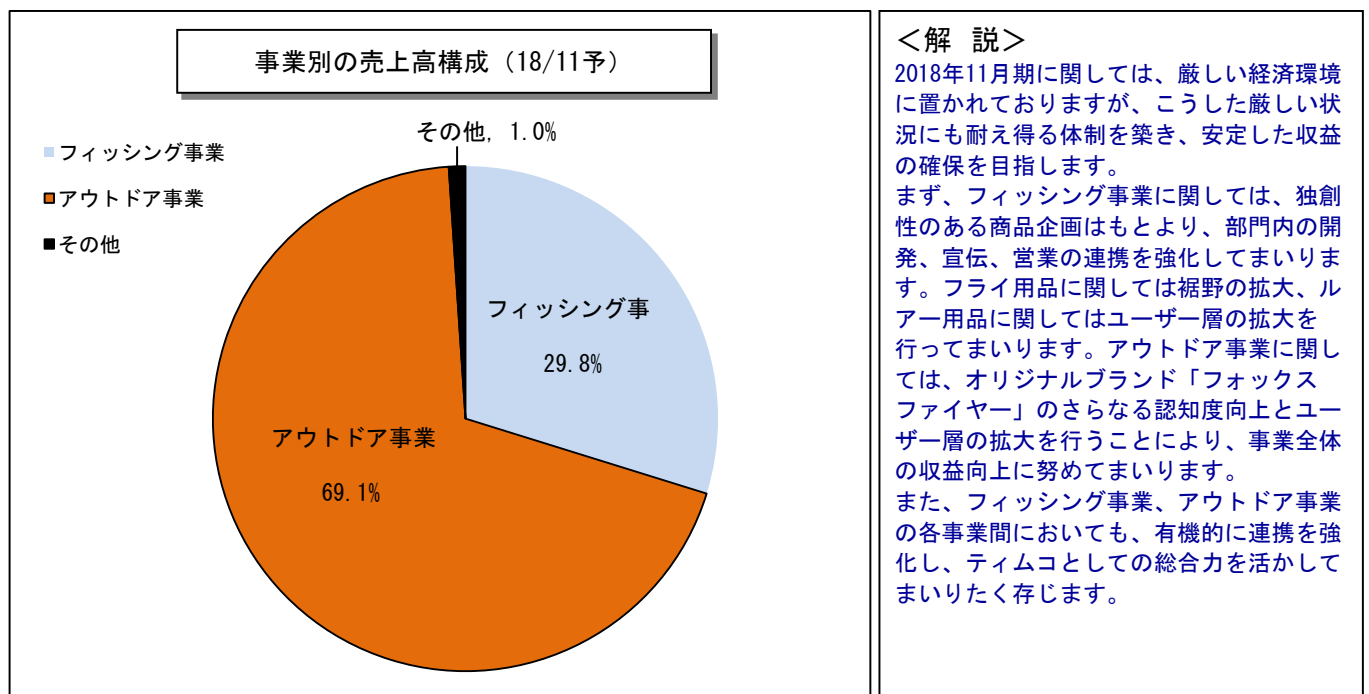
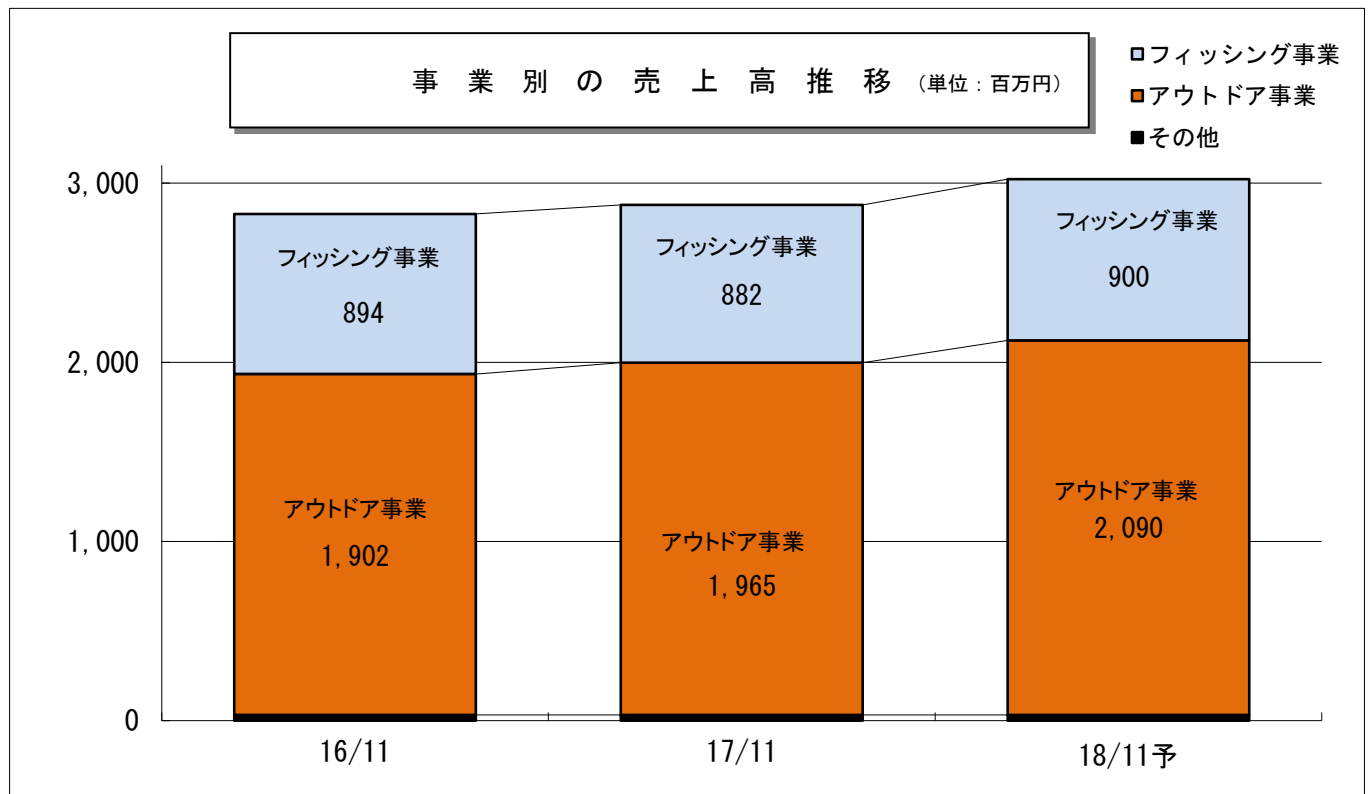
<解説>

2016年11月期は利益率低下や経費増加により、2017年11月期については売上高は向上した一方、人件費や地代家賃等の経費増加により、営業損失、当期純損失を計上しました。2018年11月期は第2四半期まで堅調に推移しており、通期についても当期純利益を形成する見込みであります。なお、2018年7月10日に業績予想の修正開示を行っています。

■ 事業セグメント別売上高

(単位：千円)

セグメント	第47期 (16/11期)			第48期 (17/11期)			第49期 (18/11期) 予想		
	売上高	百分比	前期比	売上高	百分比	前期比	売上高	百分比	前期比
フィッシング事業	894,064	31.6%	-0.1%	882,776	30.6%	-1.3%	900,000	29.8%	2.0%
アウトドア事業	1,902,211	67.3%	-0.5%	1,965,841	68.2%	3.3%	2,090,000	69.1%	6.3%
その他	32,077	1.1%	5.6%	32,302	1.1%	0.7%	32,000	1.1%	-0.9%
全社合計	2,828,353	100.0%	-0.3%	2,880,920	100.0%	1.9%	3,022,000	100.0%	4.9%



<解説>

2018年11月期に関しては、厳しい経済環境に置かれておりますが、こうした厳しい状況にも耐え得る体制を築き、安定した収益の確保を目指します。

まず、フィッシング事業に関しては、独創性のある商品企画はもとより、部門内の開発、宣伝、営業の連携を強化してまいります。フライ用品に関しては裾野の拡大、ルアー用品に関してはユーザー層の拡大を行ってまいります。アウトドア事業に関しては、オリジナルブランド「フォックスファイヤー」のさらなる認知度向上とユーザー層の拡大を行うことにより、事業全体の収益向上に努めてまいります。

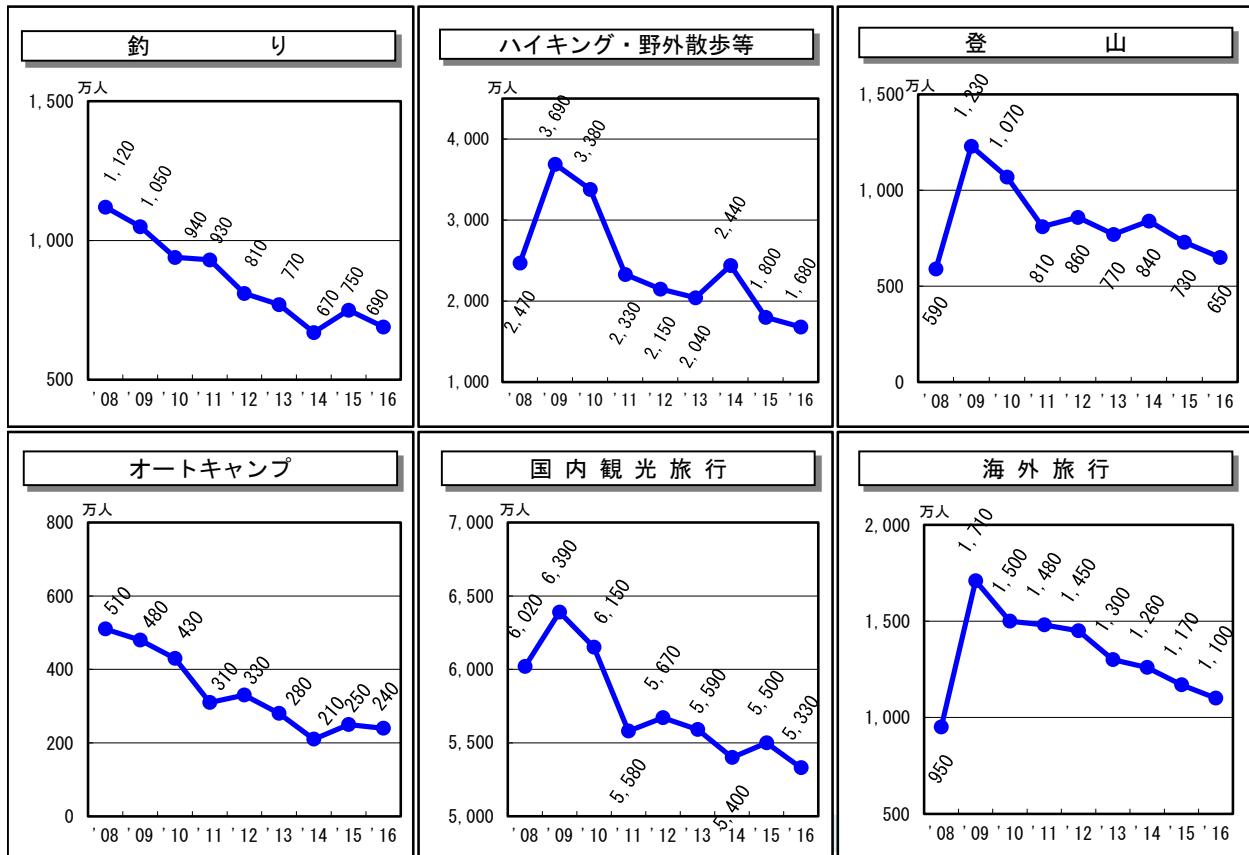
また、フィッシング事業、アウトドア事業の各事業間においても、有機的に連携を強化し、ティムコとしての総合力を活かしてまいります。

● 参加人口の推移

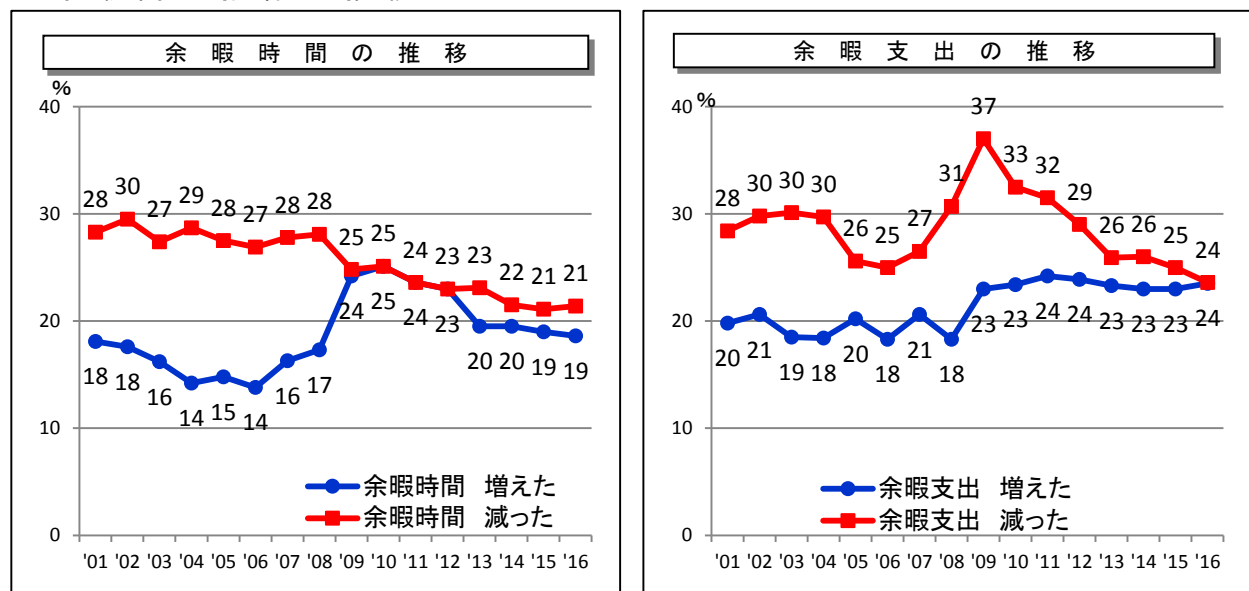
(単位：万人)

ジャンル	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
釣り (含ルアー・フライ以外)	1,120	1,050	940	930	810	770	670	750	690
ハイキング・野外散歩等	2,470	3,690	3,380	2,330	2,150	2,040	2,440	1,800	1,680
登山	590	1,230	1,070	810	860	770	840	730	650
オートキャンプ	510	480	430	310	330	280	210	250	240
国内観光旅行	6,020	6,390	6,150	5,580	5,670	5,590	5,400	5,500	5,330
海外旅行	950	1,710	1,500	1,480	1,450	1,300	1,260	1,170	1,100

出典「2017 レジャー白書」 財団法人 社会経済生産性本部 平成29年(2017年) 8月



● 余暇関連指標の推移



出典「2017 レジャー白書」 財団法人 社会経済生産性本部

出典「2017 レジャー白書」 財団法人 社会経済生産性本部

釣用品市場の動向



● 釣用品市場規模の推移

(単位：百万円)

年 度	国内出荷市場				小 売 市 場				出荷/小売 A/B
	金 額 (A)	前 年 比		指 標 ※	金 額 (B)	前 年 比		指 標 ※	
2007年	126,090	-	-	100.0	190,050	-	-	100.0	66.3%
2008年	124,440	-1.3%	-1,650	98.7	188,390	-0.9%	-1,660	99.1	66.1%
2009年	124,270	-0.1%	-170	98.6	189,620	0.7%	1,230	99.8	65.5%
2010年	119,120	-4.1%	-5,150	94.5	180,840	-4.6%	-8,780	95.2	65.9%
2011年	111,650	-6.3%	-7,470	88.5	168,370	-6.9%	-12,470	88.6	66.3%
2012年	115,340	3.3%	3,690	91.5	173,620	3.1%	5,250	91.4	66.4%
2013年	121,130	5.0%	5,790	96.1	181,880	4.8%	8,260	95.7	66.6%
2014年	123,850	2.2%	2,720	98.2	185,610	2.1%	3,730	97.7	66.7%
2015年	127,530	3.0%	3,680	101.1	191,010	2.9%	5,400	100.5	66.8%
2016年	131,890	3.4%	4,360	104.6	197,200	3.2%	6,190	103.8	66.9%
2017(見込)	135,050	2.4%	3,160	107.1	201,910	2.4%	4,710	106.2	66.9%
2018(予測)	139,130	3.0%	4,080	110.3	207,670	2.9%	5,760	109.3	67.0%

出典：「第21回 釣用品の国内需要動向調査報告書」 社団法人 日本釣用品工業会 2017年1月

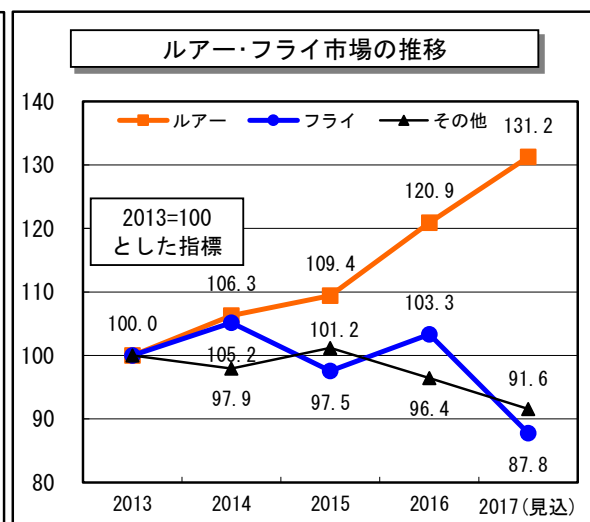
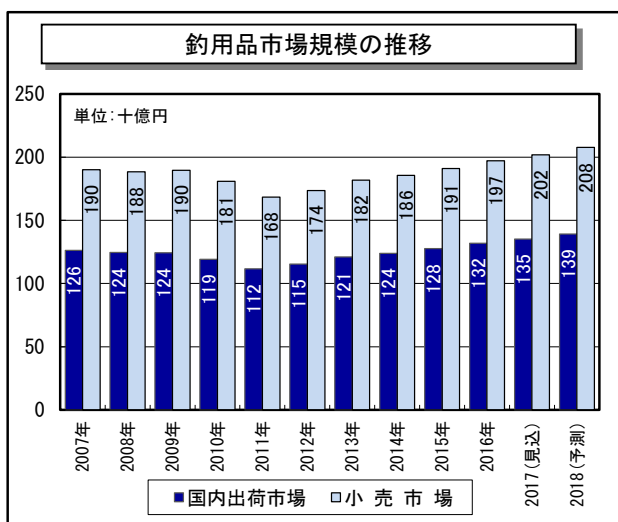
※指標は2007年を100とした場合の増減を表示しております。

● 釣種別国内出荷市場の推移

(単位：百万円)

釣 種	2015		2016			2017(見込)		
	金 額	構成比	金 額	構成比	前年比	金 額	構成比	前年比
ルアーフィッシング	66,755	52.3%	73,762	55.9%	10.5%	80,062	59.3%	8.5%
フライフィッシング	1,985	1.6%	2,103	1.6%	5.9%	1,786	1.3%	-15.1%
ルアー・フライ小計	68,740	53.9%	75,865	57.5%	10.4%	81,848	60.6%	7.9%
投 げ 釣 り	4,840	3.8%	4,346	3.3%	-10.2%	3,982	2.9%	-8.4%
磯・波止釣り	22,441	17.6%	21,332	16.2%	-4.9%	21,076	15.6%	-1.2%
船 釣 り	17,430	13.7%	17,023	12.9%	-2.3%	15,899	11.8%	-6.6%
渓 流 釣 り	2,429	1.9%	2,303	1.7%	-5.2%	2,158	1.6%	-6.3%
ア ュ 釣 り	5,187	4.1%	4,988	3.8%	-3.8%	4,987	3.7%	0.0%
ヘ ラ 釣 り	5,892	4.6%	5,553	4.2%	-5.8%	4,671	3.5%	-15.9%
そ の 他	571	0.4%	480	0.4%	-15.9%	429	0.3%	-10.6%
合 計	127,530	100.0%	131,890	100.0%	3.4%	135,050	100.0%	2.4%

出典：「第21回 釣用品の国内需要動向調査報告書」 社団法人 日本釣用品工業会 2017年1月



■ アウトドア用品市場

(単位：百万円)

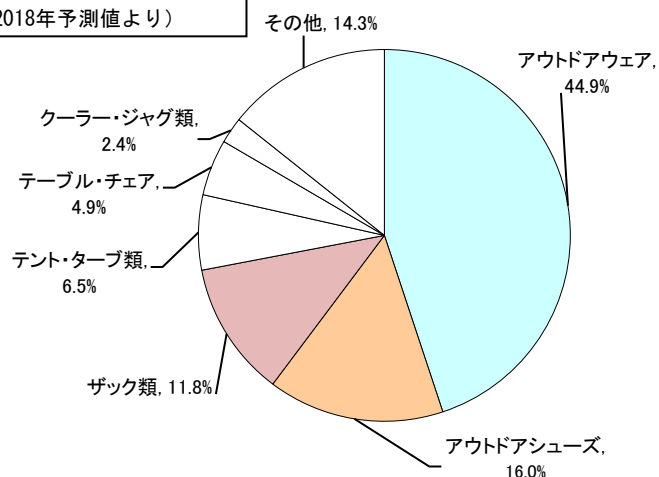
分 類	2015	2016		2017見込		2018予測	
	出荷額	出荷額	前年比	出荷額	前年比	出荷額	前年比
※アウトドアウェア	83,870	85,660	2.1%	92,300	7.8%	97,660	5.8%
※アウトドアシューズ	31,400	31,930	1.7%	32,790	2.7%	33,350	1.7%
※ザック類	24,150	24,530	1.6%	25,360	3.4%	25,560	0.8%
テント・タープ類	11,590	12,290	6.0%	13,410	9.1%	14,180	5.7%
テーブル・チェア	8,020	9,420	17.5%	10,120	7.4%	10,660	5.3%
クーラー・ジャグ類	4,490	4,850	8.0%	4,760	-1.9%	4,950	4.0%
その他	29,180	30,840	5.7%	31,350	1.7%	31,100	-0.8%
合 計	192,700	199,520	3.5%	210,090	5.3%	217,460	3.5%

※ 当社の関連するアウトドア用品市場

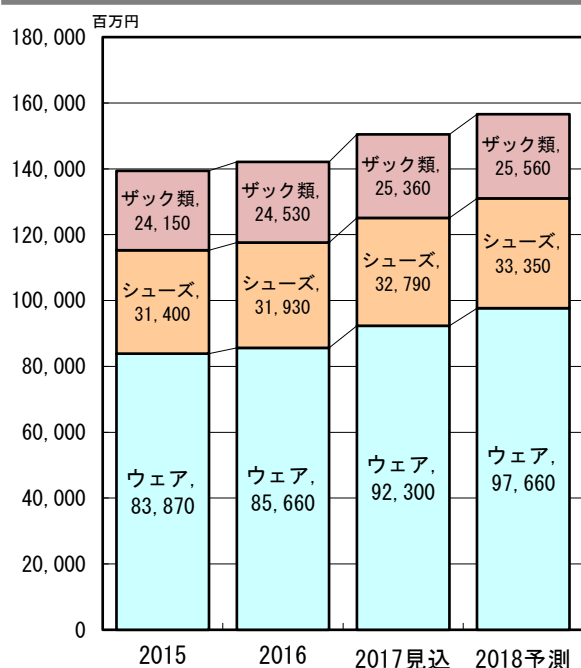
■ ジャンル別 構成比 (2018年予測値より)

分 類	構成比
※アウトドアウェア	44.9%
※アウトドアシューズ	15.3%
※ザック類	11.8%
テント・タープ類	6.5%
テーブル・チェア	4.9%
クーラー・ジャグ類	2.3%
その他	14.3%
合 計	100.0%

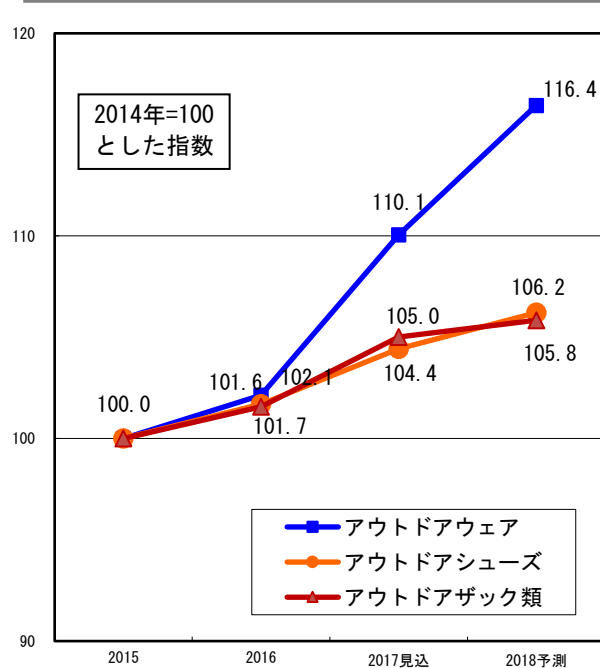
※ 当社の関連するアウトドア用品市場

ジャンル別構成比 円グラフ
(2018年予測値より)


当社の関連するアウトドア用品市場規模①



当社の関連するアウトドア用品市場②


出典「2018年版 スポーツ産業白書」株式会社 矢野経済研究所 2018年3月27日発行
注) 見込値・予測値については実態と異なる場合があります。